

1. 園の教育目標

本園は、園児の健全な成長・発達を図ることを目的としています。幼児期における遊びは特に重要であり、子ども達同士の自由な遊びこそが様々な体験や情操教育にもつながっていくものと考えます。また、自由遊びだけではなく、動と静の切り替えをスムーズにできるよう、森信三先生や岡田武彦先生が提唱された腰立教育や論語素読、その他社会生活に必要な躰の部分にも取り組んでいます。理念にあるように、職員、園児、そして保護者がお互いに信頼関係をもって「にこやかな笑顔で黙って見守る」ことのできるよう、連携を図ってきたいと考えます。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

①人間関係こそがすべて。

良い年齢の重ね方を。伝達ミスをなくすように。

②リスクマネジメント。

事故（食う、寝る、水遊び）・衛生・苦情を想定すること。

死亡事故は入園当日の午睡中が多い。うつぶせ寝をなくすこと。

③未来の倅せを想像（創造）する。

それは未来の倅せにつながりますか？プライベートも充実を。

3. 目標・計画に対する総合的な評価結果

①について

新卒や途中採用が多く、体制が大きく変わった中、予測していた以上に良い連携が図れていと思います。他人の足りない部分をお互いに補い合い、立場によって不安や不満もあったことと推察していますが、良い雰囲気の中での環境設定、園運営ができました。

②について

ルクミーのセンサーを使うことでうつぶせ寝はなくなったように思います。また、特に水遊びについて、必ず三人体制を取ること、難しい場合は水遊びをしないなどを徹底しました。リーダー会も機能していると感じています。

③について

コロナの影響もありましたが、前年度と違いオンライン研修が充実してきたため、キャリアアップ研修やぴあるーとに関わる研修にも積極的に受講させることができたと思います。新規採用者の研修があまりできていませんが、次年度に受講できるように取り組んで参ります。

4. 今後取り組むべき課題

・次年度は異動が多くあります。まずは異動してきた職員との人間関係、信頼関係を構築し、雰囲気崩すことのないよう留意していきます。また、前年度と同様、障害児が各クラスにいるため、ケース会議を毎週クラス毎に行うよう計画し、ぴある一ととの連携を図ってけるよう強化していきたいと思います。

・職員一人ひとりが人生を豊かにしていけるよう、自己成長や自己実現が達成されるよう、研修については興味のある研修を受講できるよう整備をして参ります。

・これまでのヒヤリハット・事故報告書を振り返る園内研修を実施しました。引き続き安全面に十分留意しながら、保育に取り組んで参ります。